



【短歌】
岡崎 桜雲 選

◆一般投稿作品◆

それぞれの花にそれぞれ時来れば虫もめいめい花揺らしつつ
 土砂降りの中を白鷺向う先田の畦道は獲物の宝庫
 万物をひそかにつつむ霧雨に鳥もけものもやさしくなれり
 夕暮れを急かすチャイム日の短日さかは暑し秋遠きかな
 はらはらと櫛の枯葉降りそそぐ妻と私の白髪頭に
 秋の日や試行錯誤がおもしろい案山まつりのピンをながめて
 くらべ見て笑まひ初めにし男の子たりいくさ無き代に伸びよ羽ばたけ
 猫がいるノラ猫である懐かない挨拶がない時に擦り寄る
 母は居ない優しかった私にとつての踏ん張る事の出来る人
 ハクピシントマコイノシシ猿と鹿地主を名乗る雄叫び聞こゆ
 皮肉にも故郷隠す杉敷は先人の夢閉じる幕なり
 初生りの茄子を刻めば指先は茄子色に染む朝の支度に
 澄み切った空気をつき射し朝日映ゆ畑一巡一日につなぐ
 稲刈りを終へし田赤きトラクターつき纏ひゆく白鷺四羽
 月に二度フラの教室通う吾九十一歳みんなの目標
 朝日うけ猛暑の中の彼岸花早も咲き初む秋そこまでか
 あさゆふを声かけくるるありがたさ「やりゆうかね」「あややりよるぞね」
 左右ややゆがみゆくのは愛嬌と諸ひにつつ夫と溝上ぐ
 公文 正子

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、ご応募ください。
 【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
 〒782-18501 (住所記載不要) FAX 53-15958

第17回香美・香南地区短詩型文学振興大会

短歌の部

特選 織元も問屋も失せりき農婦わが
 半身たりにし木綿のモンペ
 大岸由起子

優秀 若き女性兵士ももるたりウクライナ
 軍列に見る胸のつかるる
 古川 安子

優秀 被災地の灯と短冊に込められし
 切なき祈り届け天まで
 中村 定子

佳作 戦争を止める術無く爆弾や
 戦車を与えて鼓舞するなんて
 はじめてのほてい葵はふたつ咲く
 夫に見せたき青く清し色
 小松 當

佳作 譲られし席に弟座らせて
 ギブスの兄はお辞儀くれたり
 畑から袋は持っていないかねと
 取れたて野菜頂く日ぐれ
 森本 節子

佳作 細から袋は持っていないかねと
 取れたて野菜頂く日ぐれ
 古川 由容

高賞 ぐみ出しに出れば残月西空に
 独り居ひと日今日はじまりぬ
 吉永 由香

内田 道子

俳句の部

特選 朝曇ずしりと重い父の鉈
 山岡 秀美

優秀 父水漬く辺り台風生れけり
 小松 昇

優秀 沖に湧く雲真白なる震洋忌
 津田吾燈人

佳作 てにをはに躓く一句猫じやらし
 古川 信子

佳作 風に預けた音の確かさ桐一葉
 影山 公子

佳作 清張を読む颯風の来つつあり
 乾 真紀子

佳作 梅雨明けて夢の続きを編み直す
 大崎 勝子

高賞 孤独という小石が一つポケットに
 井上 育子

◆一般投稿(自選)作品◆

今宵また風ふきにし有れどさびしさのつりて現は心寒し 高田 清子

◆高知アララギ短歌会◆

夜の風に揉みしだかれてハンカチの木の花無残地に白々と
 孫三人じゃがいも掘りに声あげるミミズに飲ぶ一人もおりて
 あやめくさ谷水ぎわに咲きたり岩清水汲む人ら集う
 目覚まし蟬の声の大合唱ふとんを蹴つて草刈りの朝
 景色といふ言葉をもたぬ幼子は両手で弧を描く息はづませて
 草刈りて土替え耕作に四時間を耐えて花植う日々草など
 天気図に高知わずかにはずれつつ線状降水帯の被害拡大
 戦場で焦土と化したウクライナひまわりの咲く復興はいつ
 平和とは言葉だけでは成り立たぬ守る努力を躊躇うなかれ
 カラリンとグラスに氷を入れました今日も一日元気でカラリン
 紛争の激化水害も聞こへつつ十月二日けさのこの風
 スカシユリこんな色もあるのかと淡いブルーで花粉も無しに
 宮地 亀好

◆「涛光」グループ◆

来年の干支の置物作ろうと繭玉を辰には難しきかな
 冬告げる山茶花紅く華やきて緑葉の中つばみ愛らし
 数年間友より届く絵はがきの心こもれる筆のぬくもり
 先人に言われし言葉刻みおり「育てし物の思いをはかれ」
 生い繁る葉つばかきわけ実を探す大きくなりすぎこめんねオクラ
 紅淡く一輪咲きし胡蝶蘭すつくと立ちて首をかしげる
 道端の草伸びし中に赤き色今年は早い彼岸花咲く
 釣り人ら梅雨の晴れ間の清流に集い遊べば涼一味なり
 父の穫ったえんどう豆のさやをむく親子三人汗かきながら
 東方に大きく弧を描く旅客機に息子等家族の幸福祈りて
 秋 星
 野村 典子
 野島 富石
 溝渕 龍泉
 中村 佐代
 尾立ひとみ
 井上 有子
 小松 美鶴
 吉川 恵樹
 刈谷美代子

香美市民憲章 -平成24年4月1日制定-

前文 私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。
 先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、
 誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 本文
- 1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
 - 1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
 - 1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
 - 1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
 - 1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。

